

中央通り

[デザインコンセプト] 賑わいと交流を育む親しみやすいみちへ

[日程] R4.11.3~11.30

[場所] 中央通り、東西通り



各所に交通啓発看板を設置



①JR駅前商店街

沿道の飲食店のしみだしによる通りの賑わいを演出(道路上占用)

- テーブル・椅子、プランター、社会実験案内看板等の設置

②おにクル北

歩道拡幅後をイメージした、人が行きかう広がりある道路空間活用の将来形を演出(公園敷地内)

- ウッドデッキ・植栽の設置
- 市民意見を集めるブース等の設置

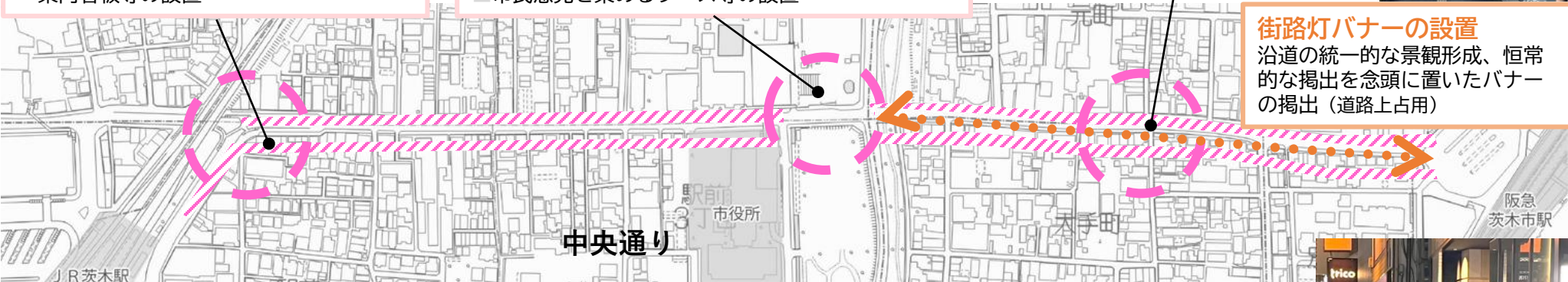
③茨木心斎橋商店街入口前

商店街との接点で情報発信等を行い回遊を促進(道路上占用)

- 地域情報案内看板の設置

街路灯バナーの設置

沿道の統一した景観形成、恒常的な掲出を念頭に置いたバナーの掲出(道路上占用)



■事業者との連携(49件協力)

沿道事業者と協働し店舗が連なり、賑わい・交流を生み出す仕掛けづくり(民有地内)

- A型看板・プランターの設置
- ポップアップフラッグの設置
- 軒先ベンチの設置



A型看板



プランター



A型看板&ポップアップフラッグ



軒先ベンチ&ポップアップフラッグ

将来像の実現に向けた実践(社会実験) R4社会実験概要

東西通り

[デザインコンセプト] 身近に潤いを感じる良質で落ち着きのあるみちへ



④東駅前公園

休憩空間の充実を図り、沿道敷地を活用した滞在空間を創出
(公園敷地内)

- 公園内でのウッドデッキ・植栽、社会実験案内看板の設置
- イベント等による利活用

⑤おにクル南

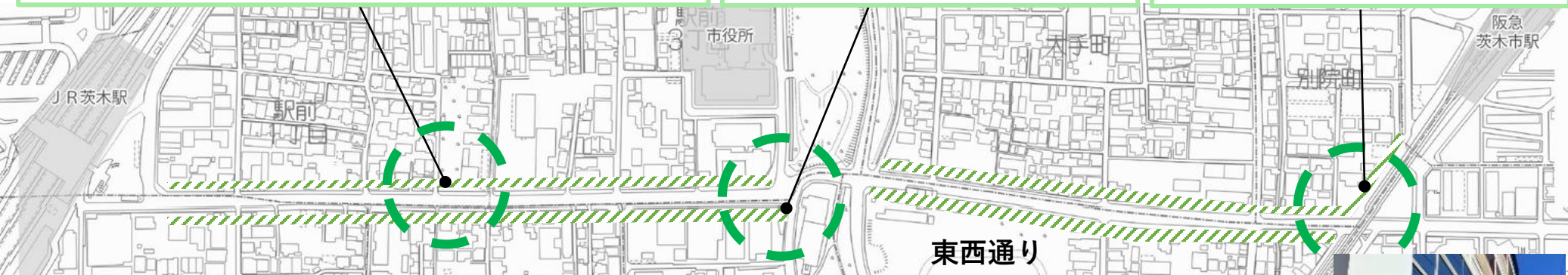
ベンチ等による休憩空間を創出
(道路上占用)

- ベンチ、交通啓発看板、社会実験案内看板の設置

⑥阪急茨木市駅南

歩道拡幅後をイメージした緑豊かな滞在空間を創出(道路上占用)

- ウッドデッキ・植栽の設置
- 社会実験案内看板等の設置



■事業者との連携(33件協力)

沿道事業者と協働し緑が連なり、落ち着いて楽しめる仕掛けづくり(民有地内)

- ストリートプラント(背の高い植栽)の設置
- ポップアップフラッグの設置
- 軒先ベンチの設置



ストリートプラント



ストリートプラント



軒先ベンチ



ポップアップフラッグ

[社会実験の目的 1]

通りとしての将来像の可視化

- メインストリートの目指すべき方向性を確認、共有することができた。
- 魅力的な景観形成には、安全に「歩きやすい」環境の検討も重要な要素
- 滞留空間は、楽しめるコンテンツとセットであると有効

これらを踏まえたデザインの方向性や持続的な運用等を検討し、示すことが重要



令和5年度

デザインガイドライン
の策定

[社会実験の目的 2]

沿道事業者等の機運醸成

沿道事業者等の主体性の後押しにつながる、継続的な機運醸成に向けた取組みの検討が必要



将来像の実現に向けた
実践（社会実験）

[社会実験の目的 3]

歩行者・自転車の通行の啓発

通行の安全面につながる整備（ゆとりある空間の確保など）の検討が必要

令和5年度 将来像の実現に向けた実践(社会実験)

■実施概要 (素案)

日程：令和5年11月下旬頃 2日間

場所：中央通り、J R 茨木駅付近の車道（側道） ※東西軸で最も交通量が少ないところで実施

目的・内容：将来像の実現に向け、歩行空間拡幅による空間活用等の検討を目的とした実践を行う。あわせて、東西軸の沿道事業者等の主体的な取組みの促進・支援を行う。

【道路】中央通り・JR茨木駅
付近の車道(側道)

現況



中央通りの将来イメージ



令和5年度 将来像の実現に向けた実践(社会実験)

■ 実施イメージ(素案)

中央通りの将来イメージ



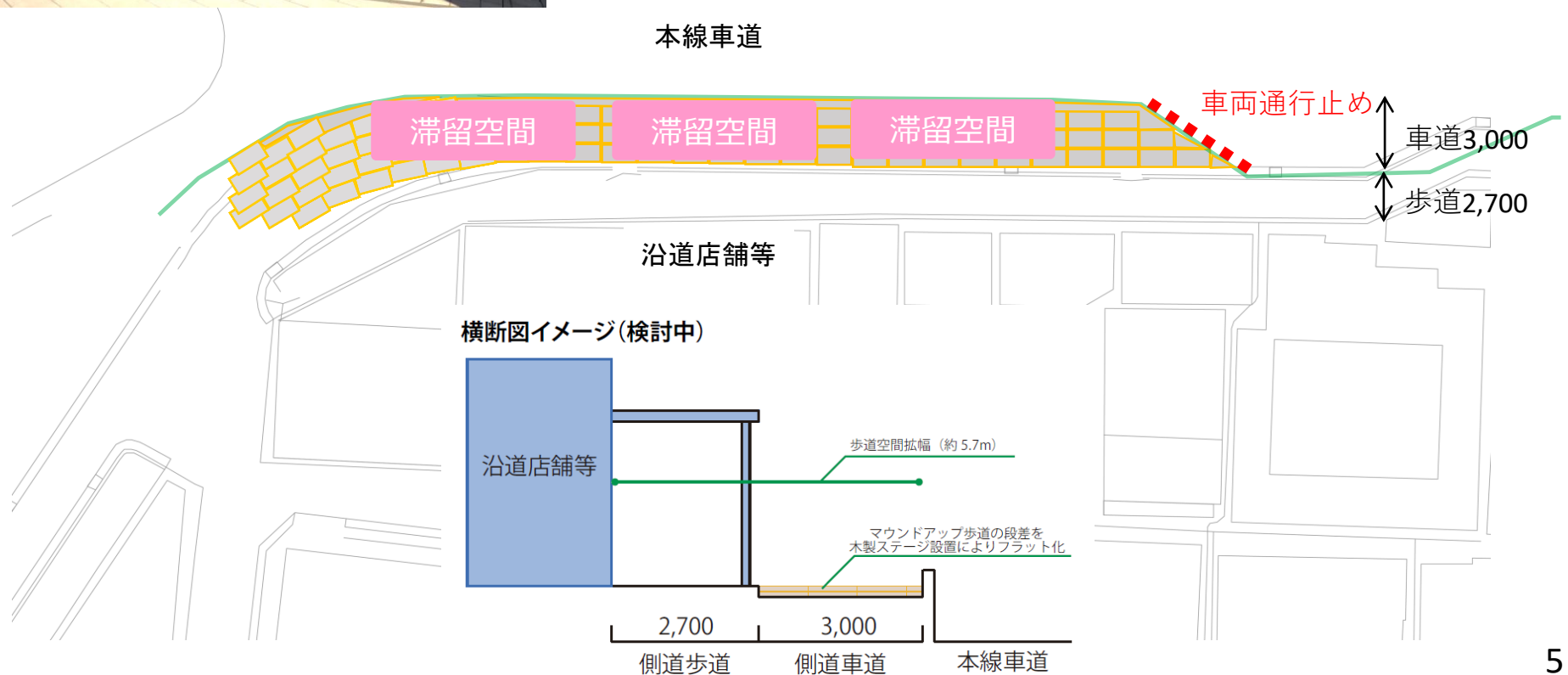
- 中央通りの将来イメージにつながる3つの滞留空間を設ける想定
- 沿道事業者等の「やりたい思い」を優先的に今後内容を調整

<内容の想定>

- ① 飲食スペース (そぞろ歩きを促す沿道店舗のにじみ出し)
- ② 休憩スペース (飲食時の活用や休憩できる空間を創出)
- ③ イベントスペース (人々の活動を身近に感じさせる空間を創出)

※警察協議等により内容変更する場合があります。

本線車道



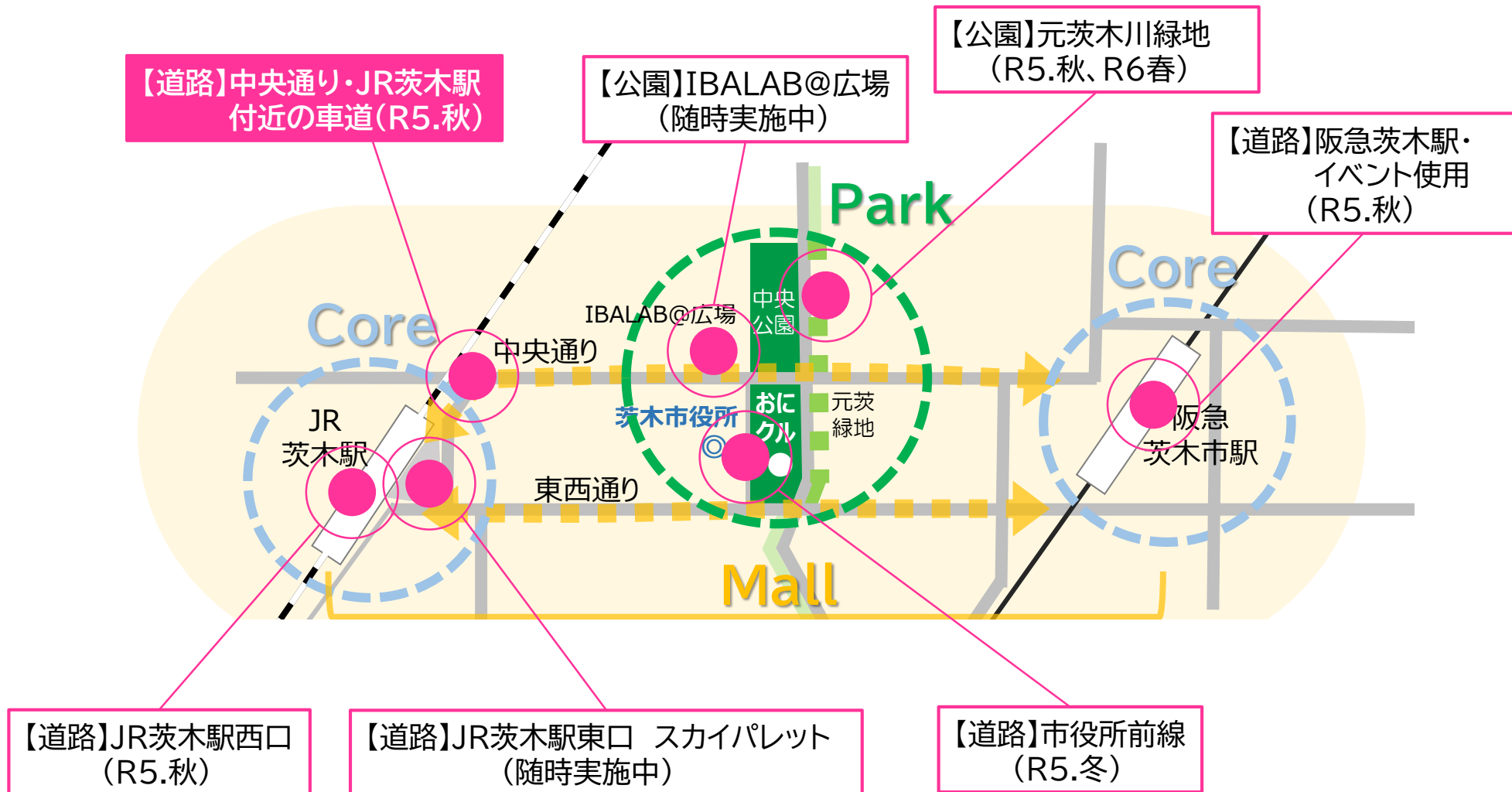
令和5年度 将来像の実現に向けた実践(社会実験)

■ 令和4年度社会実験との比較

	R 5	R 4
目的・内容	将来像の実現に向け、歩行空間拡幅による空間活用等の検討を目的とした実践を行う。あわせて、東西軸の沿道事業者等の主体的な取組みの促進・支援を行う。	<ul style="list-style-type: none">・通りの将来像の可視化を行う。・民の協力を得て、通りのデザインコンセプトに合わせた空間の演出を行う。
時期	R 5.11月下旬 (おにクルの開館日を想定)	R 4.11月
期間	2日間	約1か月間
場所	J R 茨木駅付近の 車道(側道)	中央通り、東西通り一円の 歩道、公園等

人中心のまちなか形成に向けて

- 茨木市のまちなかでは、人中心の居心地の良い空間の形成に向けて、様々な公共空間で社会実験の実施や利活用が進んでいる。
- 東西軸の取組みも他の取組み同様に、「人中心」の方向性を共有しながら取組みを推進する。
→今年度、人中心のまちなか戦略を策定予定



今後のスケジュール

■ 今後のスケジュールは、以下の流れを想定

